

昭和51年(1976年)台風第17号

(小豆島豪雨)

～ 「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組 ～

高松地方気象台

(参考) 台風第17号による大雨(昭和51年9月8日～9月13日)

- 台風第17号は、9日に那覇の東海上を北上。10日夜から12日午前にかけては、950～955hPaの強い勢力を保ったまま九州南西海上で停滞した。
- 一方、8日から9日にかけて日本海を通った低気圧から南西に伸びる前線が西日本に停滞したため、8日から降り出した雨は次第に激しさを増し、台風が長崎県を通して日本海に達した13日まで降り続いた。
- 特に11日は内海で790mmの降雨があり、6日間の総降水量は年間降水量に匹敵する1328mmの記録的な大雨となった。

香川県の被害概要 (香川県：過去における主な風水害一覧より)

- この大雨により小豆地域や東讃地域を中心に土石流や河川の氾濫・溢水が頻発し、死者50名、負傷者127名、家屋の全半壊合わせて591棟、床上・床下浸水19701戸(香川県調べ) の甚大な被害が発生した。

観測史上1位を更新した地点

最大1時間降水量

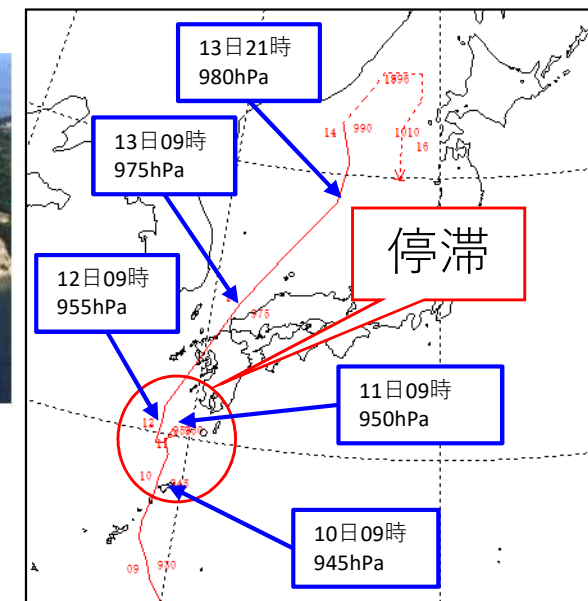
都道府県	市町村	地点名(よみ)	最大1時間降水量		
			(mm)	月日	時分
香川県	小豆島町	内海(うちのみ)	95	9/11	21:00

最大24時間降水量

都道府県	市町村	地点名(よみ)	最大24時間降水量		
			(mm)	月日	時分
香川県	小豆島町	内海(うちのみ)	790	9/11	
香川県	東かがわ市	引田(ひけた)	369	9/10	



小豆島町(旧池田町)谷尻地区の
土砂災害
(香川県ホームページより)



台風経路図